

桂浜公園整備基本構想説明会 議事録

平成 27 年 5 月 27 日 (水) 16 : 30 ~ 18 : 00

於 : 桂浜荘会議室

- 1 あいさつ (中澤部長) 16 : 30 ~
- 2 桂浜公園整備基本構想の概要説明 (今西課長) 16 : 30 ~ 17 : 00
※配布資料「桂浜公園整備基本構想」にもとづいて説明

3 質疑応答 17 : 00 ~ 18 : 00

(出席者 A)

桂浜公園土産品センターです。現在の組合の店は、昭和 55 年に行政指導によって移転したが、移転にあたっては 5 年くらい交渉を行なった経過がある。以来 30 年、ずっと桂浜のためにも観光振興にも微力ながら協力してきた。今回この計画について私たちは今日初めて知ったが、もっと早く知りたかった。まだ緒に就いたばかりなので、私たちもこれを持ち帰って話し合い、組合員のみんなが立ち行くような形で市に対し意見、その他お願いすることとなるので理解いただきたい。

(市)

観光客の方にとって、桂浜公園が楽しい思い出を作ってもらえる場所であったのは、本当に皆様方のおかげであり、感謝している。決して疎かにしたということではない。前回整備と比較して確かに早急ではあるが、公園滞在平均時間が一時間未満となり、来客数も減少してきている現在の桂浜公園の状況から、公園の魅力が以前と比較して薄れているのではと危惧しているのも事実。できるだけ早く桂浜の賑わいや魅力を取り戻したいという思いから、一旦このスケジュール案を組ませてもらった。ただ、やはり実際に桂浜公園の中で仕事をされている方々の考えを全く無視して進めるわけにはいかないことは当然理解しており、5 年くらいかけての協議は困難だが、皆様方とは十分な話し合いをしながら進めていきたいと考えている。この構想は、まずは皆様方と相談する前に、高知市としての考え方をまとめたもの。

これを一つのベースにして、ご意見も賜りながら基本計画を作る中で、必要な部分については反映等もしながら進めていきたいので、ご理解ご協力をお願いしたい。

(出席者 B)

16 ページの賑わい施設について、龍頭岬東側の砂浜に、この施設を作るということか。砂浜が無くなるということか。

(市)

砂浜ではなく、東浜の堤防西側内への設置となり、砂浜はそのまま残る。

(出席者 B)

基本構想の基本理念「貴重な自然景観と歴史資源を活かし、学びや憩い、楽しみがあふれる公園として再生」は非常に大事なことなので、ぜひ実現してほしい。電信柱や人工道路、高い建物は作らず、派手な看板も自粛、樹木はできるだけ自然のまま残す等、自然景観に配慮してほしい。また、トイレは清潔で広く、洋式のウォシュレット等の整備も検討してほしい。特に女性トイレは数も多くしてほしい。

(市)

詳細部分は基本計画で、できるだけ反映できるよう検討していく。

(出席者 C)

歴史的資源をもっと創出，活用してほしい。長宗我部元親や野中兼山，南学の山崎闇斎の史跡や六体地蔵等，掘り出せばいくらでもある。

(市)

歴史と文化は 22 ページの一部しかまだ掲載できていない。私どもが知る以上の歴史がこの浦戸地区や周辺地区に多いというのは聞き及んでいる。地元の方や歴史を研究されている方等の意見をお伺いして観光客や市民，県民に興味を持っていただけるものを作っていきたい。

(出席者 D)

賑わい施設の位置は，津波は大丈夫か。せっかく立てるのなら高い所が良いのでは。

(市)

浸水想定エリアにあることは承知しているが，観光と防災政策は，ある程度別立てで考える必要があると考えている。ただし，施設設置後の避難対策等，必要な対策は講じていかななくてはならない。

(出席者 E)

賑わい施設付近の堤防は，毎年台風が来たら壊れ，補修しており，波も乗り越えてくる危険な場所。また，下の岩盤もあまり強固ではない。賑わい施設は，現在のとさいぬパーク付近を少し嵩上げた場所に移せば良い。検討委員には地元で育った人は誰もいない。構想の練り直しをしていただきたい。

(市)

今回の検討委員は，観光の専門家やマスコミ関係，市民代表者の方々に入っていており，防災の専門家は入っていなかった。今後基本計画を作る中では，今のご意見も踏まえた上で検討したい。検討経過として，今ある売店やとさいぬパーク付近への設置となれば，そこを取り壊して工事することとなり，売店等の施設が無い状態が何年か続くこととなるため現案とした。ただ，防災は非常に大切であり，現案となった場合でも，観光客や公園内の方々の命が一番大切であるため，命を守る対策は必要と考えている。

(出席者 F)

桂浜公園の原状の評価について市民や公園への来訪者，近畿圏でのアンケート調査について，回答者の合計 1,100 人は少ないのでは。自分で調べたところでは県外の人は，この調査の存在を何も知らなかった。アンケートは今後も実施するのか。

(市)

基本計画を作る過程で，サービスエリアの中で仕事されている方々の意見を聴くことは予定している。アンケート対象者数の多い少ないは，それぞれの考え方にもよるが，私どもとしては 1,000 人程度のアンケートをいただければ，ある程度の意見の集約になると考えている。また，県外の方については，大阪で 100 件程度の聞き取り調査も実施している。十分な数ではな

いかかもしれないが、色々な意見をいただくような努力はしてきたので、ご理解願いたい。

(出席者 F)

アンケート期間は一日、二日で実施したのか。

(市)

近畿圏の方においては、昨年の 8 月 22 日と 23 日の二日で実施した。

(出席者 G)

エントランスについては、売店の方ともう一度、案を練り直してみたらどうか。津波対策を万全にする必要があるが、津波避難路は整備済みか。

また現在の空き店舗を、地元の業者の方と一緒に短期的に活用してみてもは。

(市)

主要避難道路としての県道の他、状況によって椿の小路なども避難路として活用できる。桂浜整備は、多くの方々の意見を元にしながらか進めていくものであるため、防災も含め意見をいただいて検討していくが、桂浜は海を背景とした観光地であるため、防災面とどう組み合わせしていくのか等については今後の検討課題となる。

また、現在の店舗活用は、地元の業者と行うのではなくて、あくまで市民全員の公園なので、ゼロベースで、どんなものかいいのかを考えていくこととしている。ご意見はもちろん頂戴していく。

(出席者 H)

検討委員会では施設のことが優先されて検討されているが、桂浜は本浜がご本尊。昔の桂浜は浜に店や休憩場所があつて良かった。今回の検討で本浜に施設を移す案が無い理由は。

また、現案では賑わい施設や龍馬記念館など、公園内資源全体で活性化を図るという捉え方をしているが、やはり桂浜は、まずは浜をベースにして、活性化を考えて行くべきだと思う。

(市)

本浜についても検討は当然なされたが、意見を集約した結果、本浜は自然景観を重視し、賑わい施設を別場所として自然を残すという現案となった。

(出席者 I)

波や津波対策を考えれば、山を少し削って上の方に喫茶店やレストラン、下に売店を設置するという構想も検討できないか。

(市)

長年地元で生活してこられた皆様が、波や津波等、観光客の安全を心配されている意見を先ほどからいただいているので、基本計画の中で新たな場所が可能かどうかも含めて考えていきたい。

(出席者 J)

県外からの観光客がまず行くところは桂浜だが、散策だけで終わって勿体無い。桂浜は、桂浜で売れ、坂本龍馬で売れ、長宗我部でも売れる場所。浦戸には、長宗我部ゆかりの史跡はまだまだある。平成 5 年の桂浜荘の改築のときにも石垣が発掘されたが、まだ一部しか出ていな

い。浦戸の港の方の城下町には南学の先生の碑もある。今回の案には、歴史散策エリアを設けているので、今後もパブリックコメントの実施等で広く意見を聞いて、歴史の活用案について考えてほしい。

(市)

私どもも、まだまだ知らないことが多い。長宗我部の歴史資源の活用等も反映していきたい。

(出席者 K)

旭山動物園等、日本で有名な観光地や施設は一人の思いで作られた。直島の美術館では外国人観光客が6割を超えているが、それは世界No.1の美術館を作ったから。検討委員会方式でやると、皆さんが「これはいかん、あれはいかん」と言われ、世界から客を呼べるようなものが出てこない。景観と言っても桂浜の景観は日本で何番目か。台湾の観光会社の視察では四万十川や日曜市、高知城は評価が低かったが、吉良川の商人屋敷や祖谷のかずら橋は評価が高かった。今、四国は秘境の地ということで台湾、香港、それから韓国の旅行者に対し売り出している。外国人旅行者も今までの東京とか大阪、京都の旅行から変わってきている。また北海道は台湾人入込数が64万人となっているが、それは台湾で毎週北海道の番組をやっているから。現案には夢を感じない。検討委員会方式は今後は止めたらどうか。

(市)

カリスマ的な方に意見を聞いて、それを参考に進めるということも必要かと考える。委員会は二年間ということで立ち上げているので、委員会の委員にも引き続きご意見いただくが、新しい検討方式も勉強しながら、取り組んでいきたい。

(出席者 L)

大河ドラマは200億の経済効果があると言われる。ジョン万次郎の大河ドラマをオリンピックまでに実現できれば、高知にも清水にも経済効果が相乗的に期待できる。NHKにも交渉しているので協力願いたい。

(市)

龍馬伝のときに高知観光は本当に賑わった。大河ドラマの影響大きく、地域活性化の一つの手段なので我々としてもいろんな形で動いていきたい。議会からも提案をいただいたことがあり、NHKにも要請に伺っている。

(出席者 G)

外国人観光客にも楽しんでもらえる魅力ある環境に配慮してほしい。具体的には英語・韓国語・中国語の表示板の設置と各言語が話せる方の観光案内所への配置。

(市)

看板は、多くの外国人観光客の方にも楽しんでいただけるように設置を考えている。観光案内所への配置については、費用対効果の面も含めて今後研究していきたい。また、海外の旅行者からのニーズが高いWi-Fi等の整備についても行っていきたい。